科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER10 1P1 English Reading			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 喜多野　裕子		
群	外国語科目群		分野(分類)			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	金2	配当学年	１回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

アガサ・クリスティーのWitness for the Prosecutionを講読する。この作品は、ミステリーの女王とも称されるクリスティーの戯曲の中でも傑作とされており、弁護士事務所での面談や法廷における裁判のプロセスそのものがドラマとなっている。英国の裁判制度の特徴をおさえ、難解な裁判場面の台詞を読解する。緊迫した台詞の応酬によって描写されるキャラクター造形および、台詞に絡み合う感情の揺れ動き、さらに
法廷場面においては検察側と弁護側の戦略を分析する。

[到達目標]

英国の裁判制度を理解し、裁判用語や法律用語を習得する。
台詞で描写される事件内容のポイントや問題点をつかみ、特定のシーンをさまざまな視点から英語で要約できるようになる。
文化としての英国演劇についての知識を深める。
プレゼンテーションや場面の創作課題を通して、英語の表現力を高める。

[授業計画と内容]

第一回～第五回　登場人物、時代背景の確認及びAct 1講読
第六回～第十一回　　Act 2講読
第十二回～第十四回　Act 3講読
第十五回　期末試験
第十六回　フィードバック

※内容理解の確認及び英語による表現力のブラッシュアップのため、適宜プレゼンテーションを課す。遅刻しないこと。また、積極的に参加すること。

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。
毎回授業開始時に行う予習確認のための小テスト（遅刻しないこと）２０％
プレゼンテーション　２０％
期末試験　６０％
ただし上記のパーセンテージは開講後変更する場合がある。

英語リーディング ER10(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER10(2)

[教科書]

Agatha Christie 『Witness for the Prosecution』（英宝社）ISBN:978-4-269-08035-5

[授業外学修（予習・復習）等]

綿密な予習をして授業に参加すること。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]